

保管用

施工説明付き

保証書別添付

取扱説明書

住宅用照明器具 (ペンダント)

LEDシリーズ

※対象品番は裏表紙の仕様欄を
参照ください



※イラストはイメージです。

お客様へ

このたびは、パナソニック製品をお買い上げいただき、
まことにありがとうございます。

■取扱説明書をよくお読みのうえ、
正しく安全にお使いください。

特に、ご使用前に「安全上のご注意」(2ページ)を
必ずお読みください。

保証書は「お買い上げ日・販売店名」などの記入を必ず
確かめ、取扱説明書とともに大切に保管してください。

工事店様へ

■この説明書は必ずお客様にお渡しください。

もくじ

安全上のご注意	2
各部のなまえと付属部品	3
照明器具を取り付ける	4
各部のはたらき	6
あかりをつける	7
リモコンの便利な使いかた	8
故障かな?と思ったら	9
お手入れについて	9
ご使用上に関するお知らせ	裏表紙
仕様	裏表紙
保証とアフターサービス	裏表紙



安全上のご注意




必ずお守りください

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。

■お守りいただく内容を、次の図記号で説明しています。（下記は図記号の一例です。）

 警告	「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。
 注意	「傷害を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

 	してはいけない内容です。
	実行しなければならない内容です。

警告

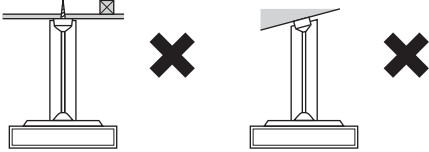
■取付面

- 次のような場所には取り付けない
火災、感電、落下によるけがのおそれがあります。

- ・補強のない場所
(ベニヤ板や石こうボードなど)
- ・傾斜した場所



禁止



◎この器具は水平天井面吊り下げ専用です。

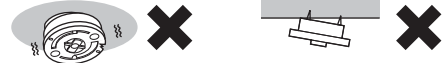
■配線器具

- 次のような配線器具（ローゼット・引掛シーリング）には取り付けない
火災、感電、落下によるけがのおそれがあります。

- ・がたついたり、破損しているもの
- ・斜めに取り付けられたもの



禁止



◎販売店、工事店に交換を依頼してください。
(交換には資格が必要です。)

■その他

- 交流100ボルトで使用する
過電圧を加えると過熱し、火災・感電のおそれがあります。

- 異常を感じた場合、速やかに電源を切る
異常状態が収まったことを確認し、販売店またはお客様ご相談窓口（保証書内在中）にご相談ください。

- 器具を改造したり、部品交換をしない
火災、感電、落下によるけがのおそれがあります。



必ず守る



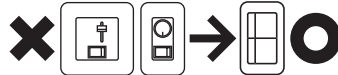
分解禁止

■壁スイッチ

- 調光機能が付いた壁スイッチの場合は、一般の入切用スイッチに交換する
火災のおそれがあります。



必ず守る



◎販売店、工事店に交換を依頼してください。
(取り外しには資格が必要です。)

注意

- 照明器具には寿命があります。
設置して10年経つと、外観に異常がなくても内部の劣化は進行しています。
点検・交換してください。

点検せずに長期間使い続けるとまれに火災、感電、落下などに至る場合があります。

◎1年に1回は「安全チェックシート」（保証書内在中）に基づき自主点検してください。

- 付属の梱包材は取り除いて使用する
そのまま使用すると、火災の原因となることがあります。

- 吊金具、カバーは確実に取り付ける
落下してけがの原因となることがあります。



接触禁止



水ぬれ禁止



禁止

- 点灯中や消灯直後はLEDやその周辺にさわらない

やけどの原因となることがあります。

◎お手入れは電源を切り、LEDやその周辺が冷めてから行ってください。

- 浴室など湿気の多い場所や屋外で使用しない

火災、感電の原因となることがあります。

◎この器具は防湿、防雨型ではありません。

- 温度の高くなるものを器具の真下に置かない

火災の原因となることがあります。

◎器具の真下にストーブなどを置かないでください。

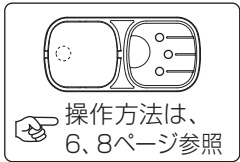
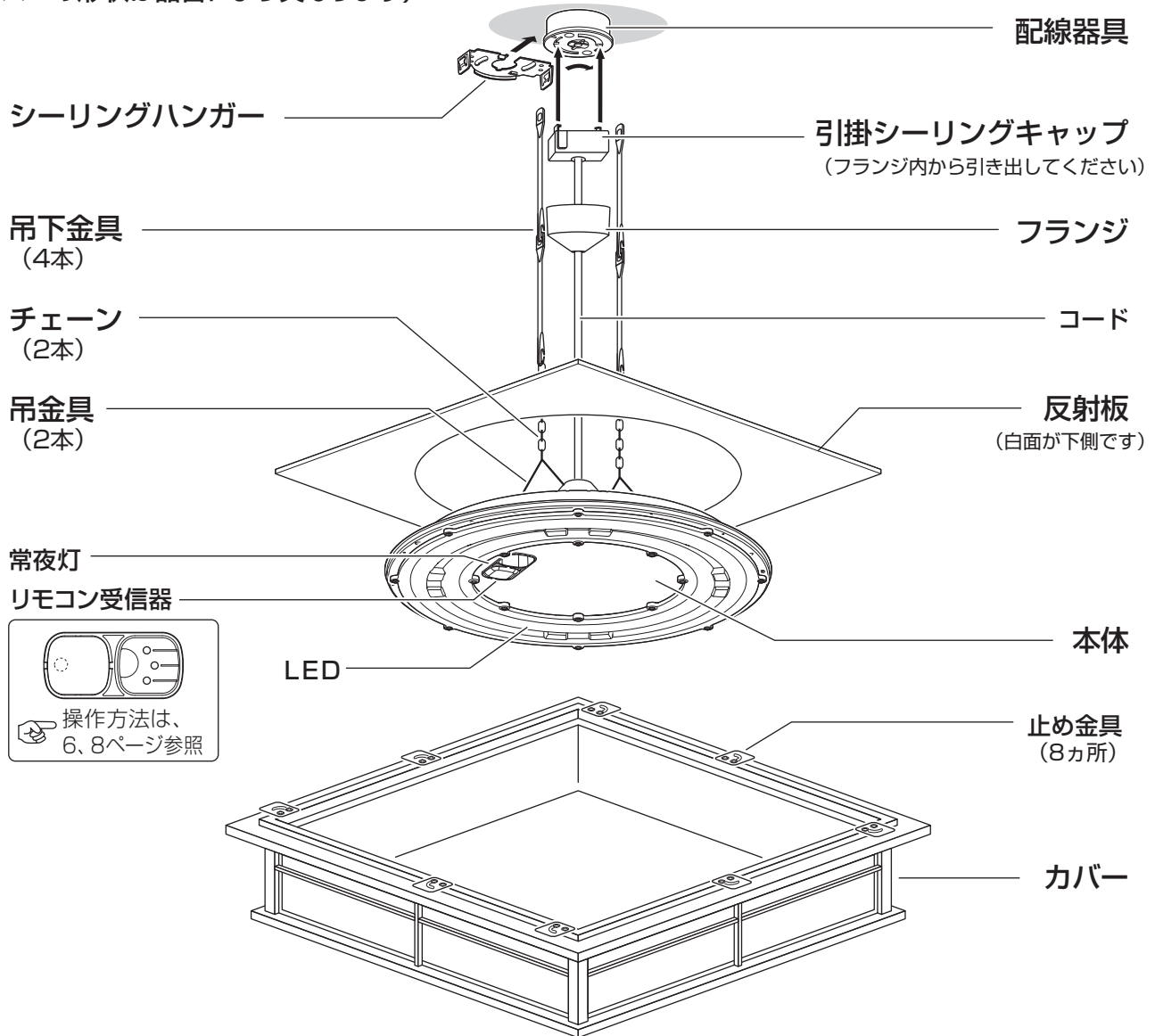
- カバーを外した状態で点灯したLEDを長時間直視しない

目の痛みの原因となることがあります。

各部のなまえと付属部品

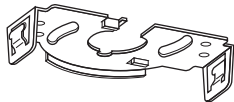
施工する前にまず付属部品をご確認ください

(カバーの形状は品番により異なります)



本体取り付け用付属部品

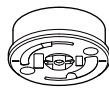
シーリングハンガー (1個)



シーリングハンガー用
木ネジ (2本)



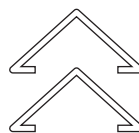
配線器具
丸型フル引掛
シーリング (1個)



引掛シーリング用
木ネジ (2本)



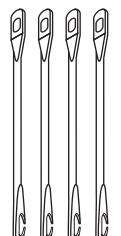
吊金具
(2本)



チェーン
(2本)



吊下金具
(4本)

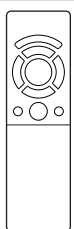


リモコン付属部品

リモコン
(1個)

補修品番
HK9480MM

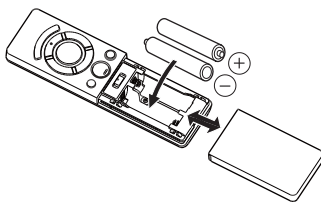
操作方法は、
6~9ページ
参照



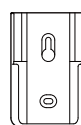
単3形
乾電池
(2本)



●リモコンのフタを開けて、
単3形乾電池を2本入れる。



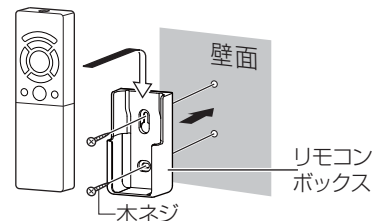
リモコン
ボックス
(1個)



リモコン
ボックス用
木ネジ (2本)



●リモコンボックスを使用して、
紛失防止用に壁掛け収納できます。



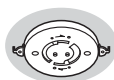
照明器具を取り付ける

安全のため、電源を切ってから行ってください

※必ず壁スイッチと併用してください。裏表紙「ご使用上に関するお知らせ」参照

1 天井の配線器具を確認して、取り付けの準備をする

水平天井に、下図のような配線器具が付いていると取り付けできます。



WG6000
WG6420
WG6130

引掛埋込
ローゼット



WG6005

フル引掛
ローゼット



WG5005
WG5015

丸型フル引掛
シーリング



WG4000
WG4420
WG4425
WG1500

丸型引掛
シーリング

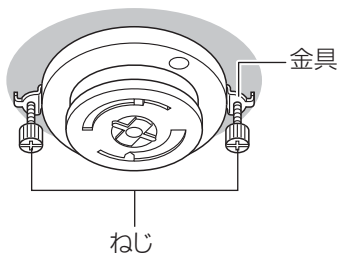


WG1000

角型引掛
シーリング

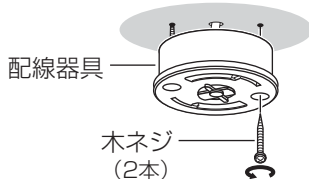
そのまま取り付けできます

- ローゼットの金具に、ねじが付いている場合は外してください。



付属のシーリングハンガーを使って取り付けできます

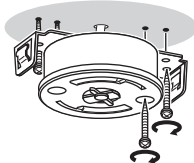
- ① 木ネジをゆるめ 配線器具を外す



- ② シーリングハンガーをはめる



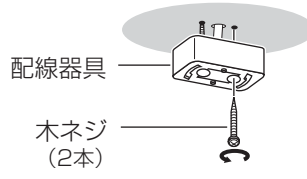
- ③ 木ネジを締め付ける



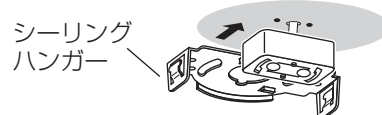
・シーリングハンガーの取り付けは付属の木ネジ止めを推奨します。

付属のシーリングハンガーを使って取り付けできます

- ① 木ネジをゆるめ 配線器具を外す



- ② シーリングハンガーをはめる



- ③ 木ネジを締め付ける



・シーリングハンガーの取り付けは付属の木ネジ止めを推奨します。

角型引掛シーリングを90度にふった角度でも取り付け可能です。

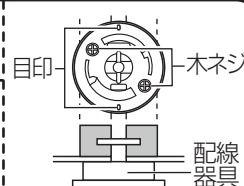
上記以外の配線器具の場合、配線器具が設置されていない場合、取り付けできません。

- ◎販売店、工事店に同梱の配線器具への取り替え、取り付けをご依頼ください。
- ※工事には資格が必要です。

警告

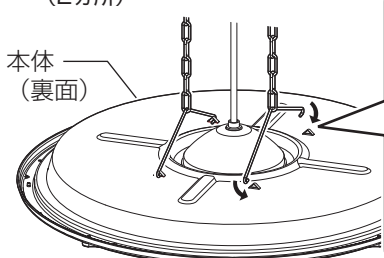
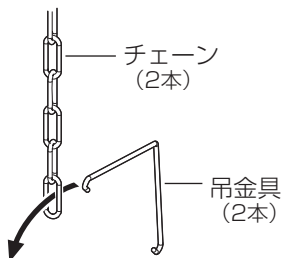


目透かし天井へ取り付ける場合は、目透かしの方向に目印を合わせて取り付ける
落下してけがのおそれがあります。

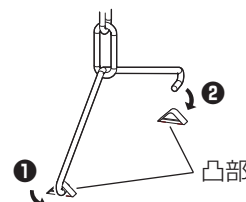


2 本体に吊金具を取り付ける

- ① 吊金具にチェーンを通す。
- ② 本体裏面に吊金具を取り付ける (2カ所)



- ① 一方を本体の凸部に引っ掛け、
- ② もう一方を凸部に引っ掛ける



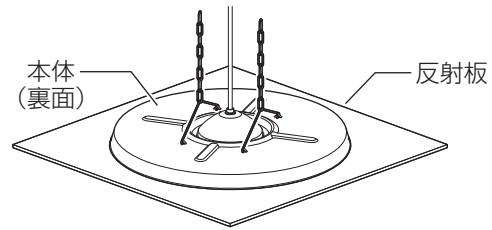
注意



吊金具は確実に取り付ける
落下してけがの原因となることがあります。

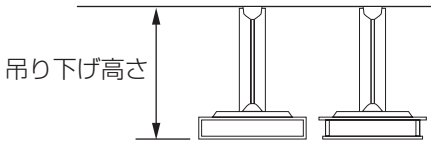
3 本体に反射板をのせる

・反射板は白面が下側です。



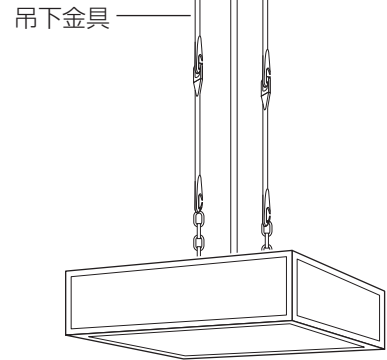
4 器具の高さを調整する

・吊下金具の本数により、器具の吊り下げ高さの調節ができます。



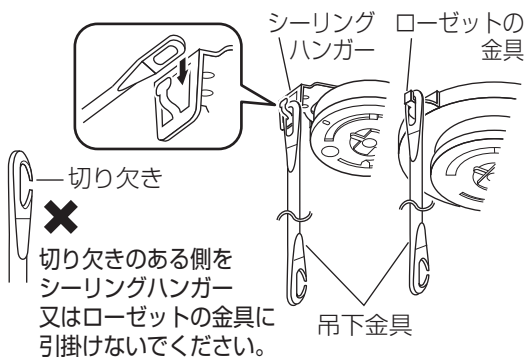
吊下金具の使用本数	0本 (吊下金具を使用しない)	2本 (1組)	4本 (2組)
品番	吊り下げ高さ		
LGBZ6200	367mm	532mm	697mm
LGBZ7200			
LGBZ8200			
LGBZ6201	372mm	537mm	702mm
LGBZ7201			
LGBZ8201			

吊下金具を4本 (2組) 使用した例

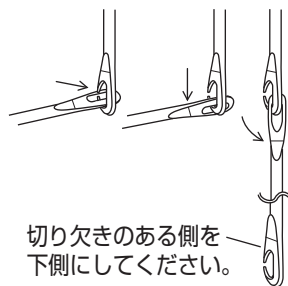


吊下金具を4本 (2組) または 2本 (1組) 使用する場合

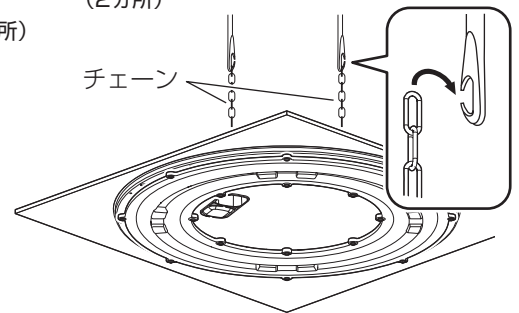
①シーリングハンガー 又は ローゼットの金具に吊下金具を引掛ける (2カ所)



②吊下金具を4本 (2組) 使用する場合、さらに吊下金具を引掛ける (2カ所)

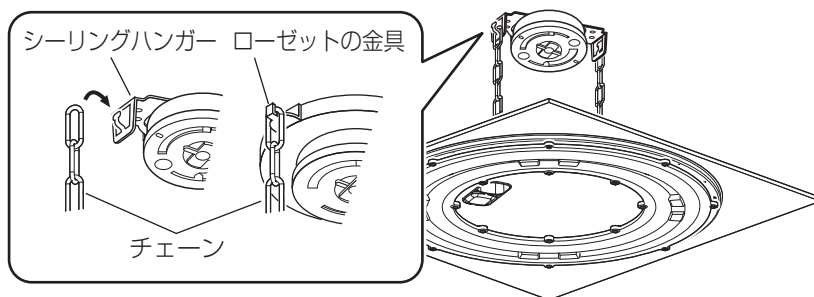


③吊下金具にチェーンを引掛ける (2カ所)

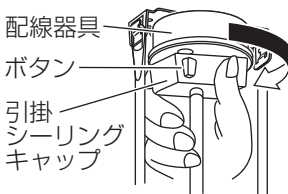


吊下金具を使用しない場合

・シーリングハンガー 又は ローゼットの金具にチェーンを引掛ける (2カ所)



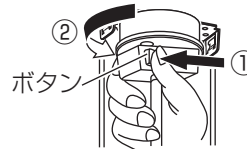
5 引掛シーリングキャップを接続する



右に回して確実に取り付ける

取り外しかた

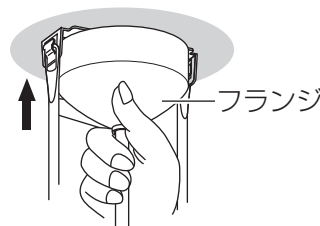
① ボタンを押しながら
② 左に回す



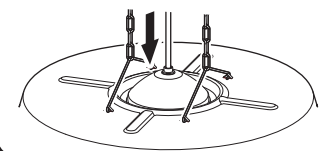
確認

取り付け後、ボタンを押さずに左に回し、外れないことを確認する。

6 天井面にフランジを押し上げる



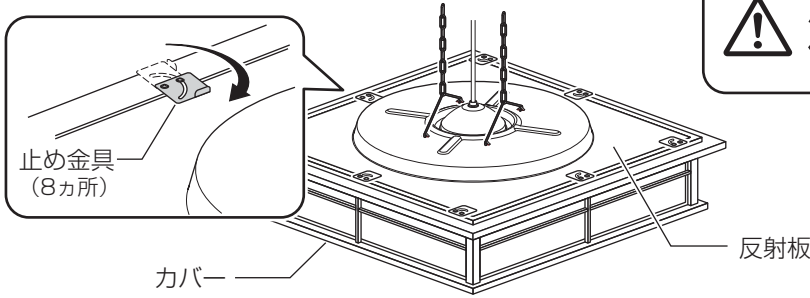
コードが余っている場合は、本体に押し込んでください。



(次ページにつづく)

7 反射板にカバーを取り付ける

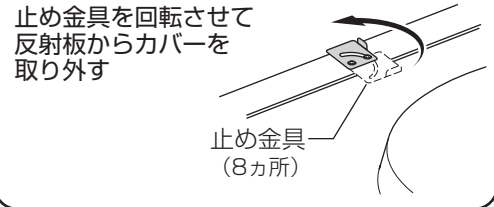
・止め金具で反射板にカバーを固定する。



注意

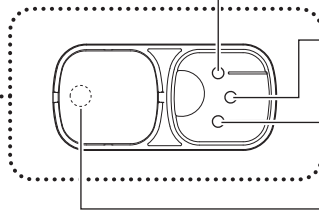
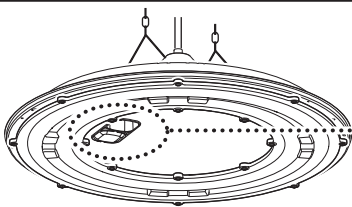
! カバーは確実に取り付ける
落下してけがの原因と
必ず守る なることがあります。

カバーの外しかた



各部のはたらき

リモコン受信器 (本体)



チャンネル設定スイッチ

器具のチャンネルを設定する場合に使用
☞ 8ページ「複数のリモコン照明器具を操作する」参照

音切入スイッチ

押すごとにリモコン操作時の音を切/入

OFF/ON スイッチ

押すごとに消灯/普段のあかり

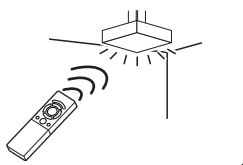
リモコン受信部

リモコンからの信号を受けます。
※傷つけたり、汚したりしないでください。

リモコン

送信のしかた

必ず「リモコン送信部」を
器具に向けて操作して
ください。



リモコン送信部

※傷つけたり、汚したりしないでください。

調色ボタン

LEDの光色を白い色から暖かい色に連続で調節
☞ 8ページ「LEDを調光、調色し記憶させる」参照

白い色ボタン

LEDが昼光色6500K※、明るさ約50%で点灯
☞ 7ページ「あかりパターンを切り替える」参照

全灯ボタン

LEDが昼白色4700K※、明るさ100%で点灯
☞ 7ページ「あかりパターンを切り替える」参照

常夜灯ボタン(蓄光)

常夜灯が明暗ボタンで変更した明るさで点灯
(初期設定: 100%の明るさ)
◎太陽光や照明器具の光を蓄えて発光します。
☞ 8ページ「常夜灯を調光し記憶させる」参照

チャンネルボタン

操作する器具のチャンネル (1~3) を設定
☞ 8ページ「複数のリモコン照明器具を操作する」参照

普段ボタン

LEDが明暗ボタン、調色ボタンで変更した明るさ、色で点灯
(初期設定: 昼白色4700K※、明るさ約70%)
☞ 7ページ「あかりパターンを切り替える」、
☞ 8ページ「LEDを調光、調色し記憶させる」参照

暖かい色ボタン

LEDが電球色3000K※、明るさ約50%で点灯
☞ 7ページ「あかりパターンを切り替える」参照

明暗ボタン

LED (100%~約5%)、常夜灯 (6段階) の明るさを調整
☞ 8ページ「LEDを調光、調色し記憶させる」、
「常夜灯を調光し記憶させる」参照

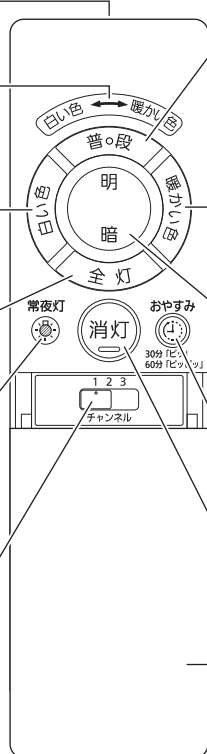
おやすみタイマーボタン

☞ 9ページ「おやすみタイマーをセットする」参照

消灯ボタン

フタ

フタをスライドさせて、チャンネル切替を行います。

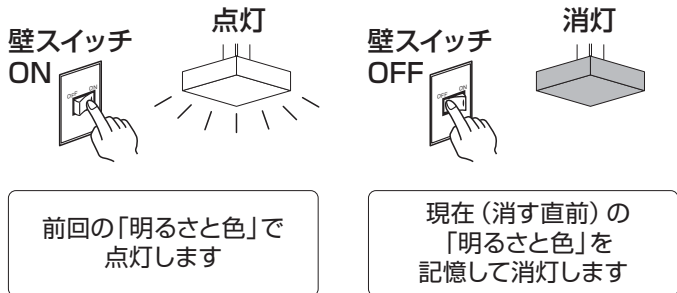


※ K (ケルビン) とは、色温度の単位で
光の色を数値化したものです。

あかりをつける

壁スイッチで照明器具を操作する

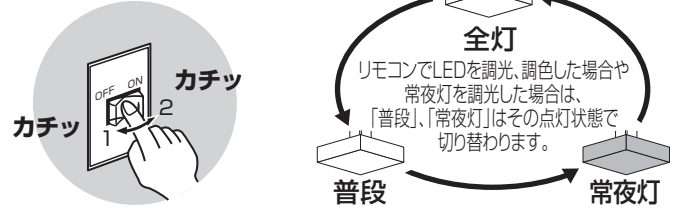
点灯・消灯する



●消灯状態でOFFすると次にONしたときも消灯状態になります。

点灯状態を切り替える

壁スイッチを素早く(約2秒以内) OFF→ONすると点灯状態が切り替わります。

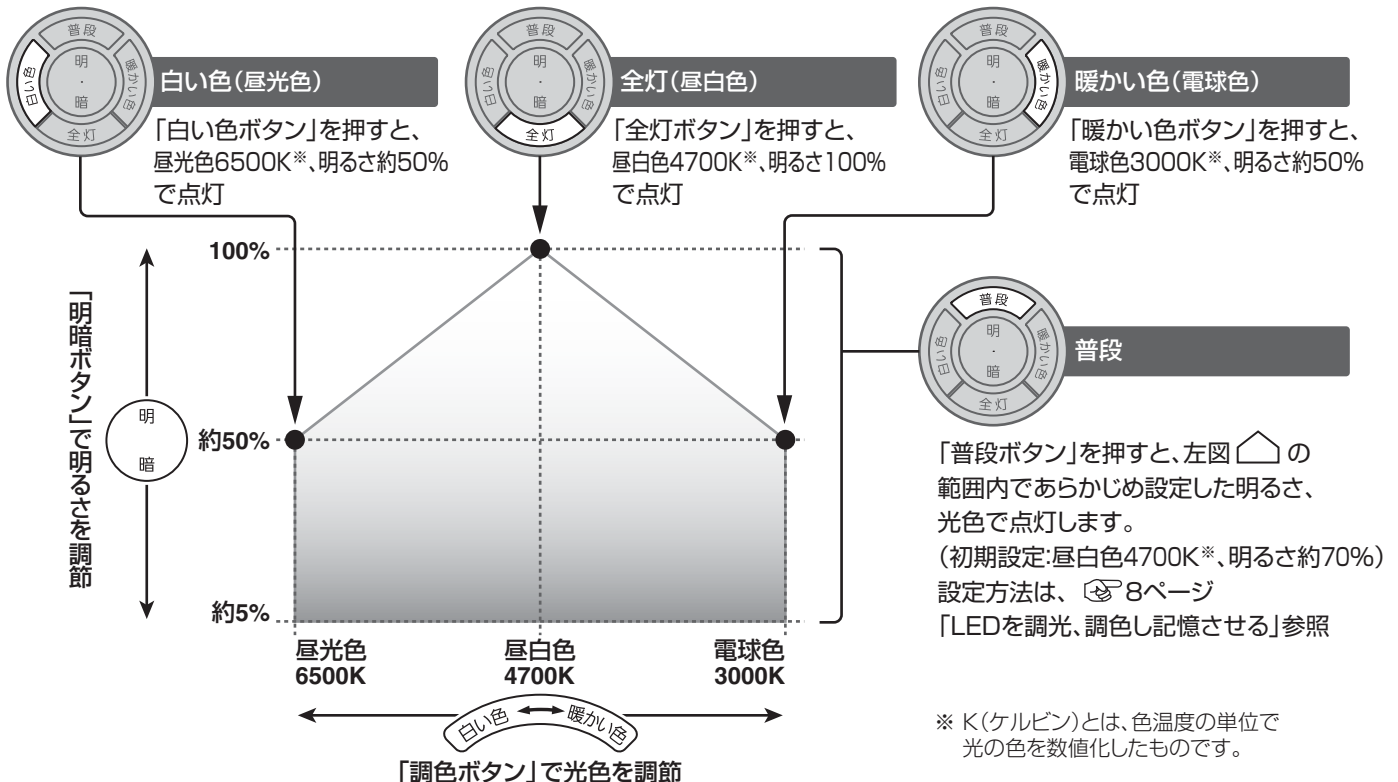
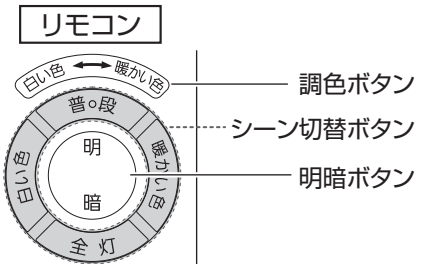


●壁スイッチ1個で2台以上の照明器具を使用しないでください。点灯状態が、同時に切り替わらない場合があります。

あかりパターンを切り替える

壁スイッチはONの状態にしてください

リモコンのシーン切替ボタンで4つのあかりパターン(普段、全灯、白い色、暖かい色)が選べます。



※ K(ケルビン)とは、色温度の単位で光の色を数値化したものです。

あかりをつける (つづき)

LEDを調光、調色し記憶させる

① リモコンの「普通」、「全灯」、「白い色」、「暖かい色」のいずれかのボタンを押す

② リモコンの「明暗ボタン」でLEDの明るさを調節する

↑ 調光、調色は続けて調節できます。

② リモコンの「調色ボタン」でLEDの色を調節する

③ リモコンの「普通ボタン」に記憶されます

メモ

- 再度、「普通ボタン」を押すと、記憶した明るさ、色で点灯します。
- 「全灯ボタン」「白い色ボタン」「暖かい色ボタン」を押して明るさや色を調節した場合も「普通ボタン」に記憶されます。

常夜灯を調光し記憶させる

① リモコンの「常夜灯ボタン」を押す

② リモコンの「明暗ボタン」で常夜灯の明るさを調節する

③ リモコンの「常夜灯ボタン」に記憶されます

メモ

- 6段階の明るさを調節できます。
- 再び左記の操作を行うまでは、記憶した明るさで点灯します。
- 常夜灯は調色できません。

リモコンの便利な使いかた

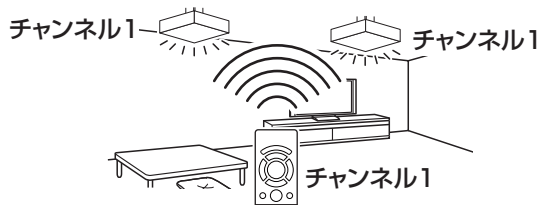
複数のリモコン照明器具を操作する

照明器具のチャンネルを変更できます

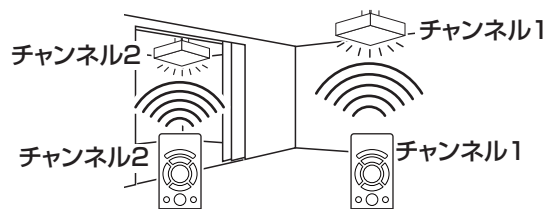
リモコンのチャンネルを切り替えると、1台のリモコンで複数の器具が操作できます。また、リモコンで器具を操作できない時は、チャンネル設定が正しくない場合があります。

チャンネル設定でできること

- 複数の器具を同時に点灯できます。
※器具間の距離やリモコン操作の方向により、同時に点灯しないことがあります。
- (例) 一部屋に2台のリモコン照明器具がある場合



- 近くの器具を別々に点灯できます。
- (例) 隣室にもリモコン照明器具がある場合



① リモコン受信器(本体)の「チャンネル設定スイッチ」を押す(1秒以内にはなす) →「ピッ」と音がする

② リモコンのフタをスライドさせて「チャンネルスイッチ」を希望のチャンネル(チャンネル1~3)に合わせる(例:チャンネル2)

③ リモコンの普通、全灯、白い色、暖かい色、明暗、調色、消灯、常夜灯のいずれかのボタンを押す →「ピピーッ」と音がして設定完了

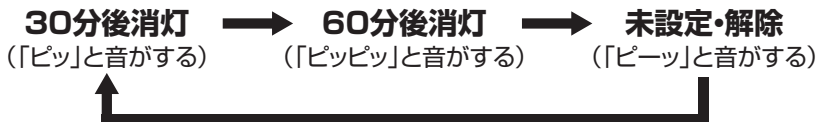
おやすみタイマーをセットする

おやすみタイマーをセットすると、30分または60分後に自動消灯を行います。



リモコンの「おやすみタイマーボタン」を押して希望のタイマーをセットする

押すごとに下記の動作を繰り返します



メモ

- リモコンでの消灯時でも、おやすみタイマーは、セットされますので、「おやすみタイマーボタン」を押して解除してください。(壁スイッチがOFFの場合は、セットされません。) 解除しないで点灯させた場合、セットした時間で消灯します。

故障かな?と思ったら

下表に従って点検してください

現象	考えられる原因	処置	参照ページ
点灯しない	壁スイッチがOFFになっている または、リモコンで消灯にして壁スイッチをOFFにしていた	壁スイッチをONにする、または、壁スイッチを素早くOFF→ONにする	6ページ ☞「壁スイッチで照明器具を操作する」
勝手に点灯する	非常に短い停電などにより壁スイッチ機能がはたらき、点灯状態が切り替わった可能性がある	壁スイッチをOFFにする	—
勝手に消灯する	「おやすみタイマー」セット中である	「おやすみタイマー」を解除する	8ページ ☞「おやすみタイマーをセットする」
リモコンで操作できない	リモコンの電池が正しく入っていない	リモコンの電池を正しく入れる	☞ 3ページ
	リモコンの電池が消耗している	リモコンの電池を交換する	☞「各部のなまえと付属部品」
	リモコンと照明器具のチャンネルが合っていない	リモコンのチャンネルを変更して操作する	☞ 8ページ ☞「複数のリモコン照明器具を操作する」
リモコン操作時にちらつく	調光、調色動作をしている	調色、調光(下限付近)動作時、ちらつく場合がありますが異常ではありません。調色、調光動作が終わるとちらつきも止まります。	
点灯状態が勝手に切り替わる	電子ブロックが異常動作状態になっている	リモコン受信器(本体)の ・「チャンネル設定」スイッチ ・「音切入」スイッチ ・「OFF/ON」スイッチ の 3ボタンを同時に押す 。 (はなすと「ピッ」と音がして、常夜灯が点灯します。) ●この操作を行うと、器具の初期設定に戻りますので、下欄の「上記の処置を行っても現象が続く場合」②を行ってください。 また、記憶させていた普段のあかり、常夜灯の点灯状態も初期設定に戻りますので、設定をなおしてください。	
「ピピッピピッピッ」と音がした後に、「消灯」する	電子ブロックが故障している	電源を切り、ご購入の販売店、工事店、お客様ご相談窓口(保証書内在中)にご相談ください	

上記の処置を行っても現象が続く場合

- ①電源をいったん切り、約20秒以上経ってから再び電源を入れる
- ②器具のチャンネルを変更する ☞ 8ページ「複数のリモコン照明器具を操作する」参照

●上記の点検でなお異常のある場合には、ただちに電源を切り、ご購入の販売店、工事店、お客様ご相談窓口(保証書内在中)にご相談ください。

お手入れについて

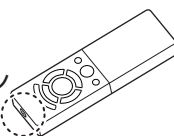
電源を切って、ランプやその周辺が冷めてから行ってください

- 明るく安全に使用していただくため、定期的(6カ月に1回程度)に清掃してください。
- 汚れがひどい場合は、石けん水に浸した布をよく絞ってふき取り、乾いたやわらかい布で仕上げてください。
- リモコンのリモコン送信部は定期的にお手入れを行ってください。ほこりなどにより汚れるとリモコンが効きにくくなります。
- 電池は半年を目安に取り替えてください。
※付属の乾電池は、最初に使用するために用意しているもので、半年に満たないうちに消耗する場合があります。

確認

シンナー、ベンジンなどの揮発性のもののでふいたり、殺虫剤をかけたりしないでください。変色、破損の原因となります。

リモコン送信部



ご使用上に関するお知らせ

故障や異常ではありません

【器具自体の留意点】

- 点灯中や消灯直後、プラスチックの伸縮によるきしみ音が照明器具から発生することがあります。
- 停電時、停電復帰時などで予期せぬ非常に短時間の停電が発生した場合、点灯状態が変わる場合があります。長時間使わないときは、壁スイッチをOFFしてください。
- 壁スイッチがないとリモコン送信器の電池が消耗した場合やリモコン送信器を紛失した場合に点灯消灯ができません。(本体のリモコン受信器の「OFF/ONスイッチ」を押せば消灯/普段点灯は可能)
- 壁スイッチがONの場合、消灯時も待機時消費電力を消費しています。
- LED、常夜灯にはバラツキがあるため、同一品番でも商品ごとに発光色、明るさが異なる場合があります。
- LED光源は、通常のランプのようにお客様自身でのお取り替えはできません。

【周囲の影響】

- 器具の近くでは、ラジオやテレビなどの音響、映像機器に雑音が入ることがあります。
- 3Dテレビ用などの特殊なメガネをかけて点灯している照明器具を見た場合、縞模様やちらつきが見える場合があります。
- 3Dテレビ視聴時、リモコンが反応しにくい場合があります。
- 点灯中にビデオカメラを使用すると、ビデオカメラのモニターや録画画像に縞模様が入る場合があります。

仕様

保証書またはカバーのラベルをご参照していただき、品番にチェックをしてください。

品番	使用電圧	周波数	消費電力		入力電流
□LGBZ6200 □LGBZ6201	AC100V	50/60Hz 共用	47W	リモコンOFF時 (待機時状態) 1W以下 常夜灯のみ 約1W	0.48A
□LGBZ7200 □LGBZ7201			52W		0.53A
□LGBZ8200 □LGBZ8201			59W		0.61A

- LED照明器具の光源寿命は、40,000時間です。(照明器具の寿命とは異なります。)
光源の寿命は、点灯しなくなるまでの総点灯時間または、全光束が点灯初期の70%に下がるまでの総点灯時間のいずれか短い時間を推定したものです。

保証とアフターサービス よくお読みください

使いかた・お手入れ・修理などは…
■まず、お買い上げの販売店へご相談ください
▼お買い上げの際に記入されると便利です

販売店名
電話 () -
お買い上げ日 年 月 日

- 保証期間中は、保証の規定に従って出張修理いたします。
- 保証期間終了後は、診断をして修理できる場合は、ご希望により修理させていただきます。

*修理料金は次の内容で構成されています。

技術料	診断・修理・調整・点検などの費用
部品代	部品および補助材料代
出張料	技術者を派遣する費用

- アフターサービスについてのご不明な点や修理に関するご相談は、お買い上げの販売店またはお客様ご相談窓口(保証書内在中)にお問い合わせください。

修理を依頼されるときは…
まず電源を切って、お買い上げ日と以下の内容をご連絡ください。

●製品名	住宅用照明器具
●品番	上記「仕様」をご参照ください。
●故障の状況	できるだけ具体的に

保証期間：お買い上げ日から本体1年間

ただし、LED電源・LEDユニットについては5年間です。

*保証の例外 24時間連続使用など、1日20時間以上の長時間の使用の場合、保証期間は半分となります。

補修用性能部品の保有期間 **6年**

*当社はこの照明器具の補修用性能部品(製品の機能を維持するための部品)を、製造打ち切り後6年間保有しています。

パナソニック株式会社 ライティング機器ビジネスユニット

〒571-8686 大阪府門真市門真1048 © Panasonic Corporation 2012-2013

LGBZ8200-T3A3

N1012-031113